

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和7年 6月 2日	
福井県知事 殿	
提出者	
住所 福井市寺前町12字川原8番1	
氏名 九頭竜生コン株式会社 代表取締役社長 北川 達也	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 (0776) 63-5221	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	九頭竜生コン株式会社
事業場の所在地	福井市寺前町12字川原8番1
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	E21 窯業・土石製品製造業
②事業の規模	420,000千円
③従業員数	7人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	コンクリートくず 天日干し→破砕→運搬業者→処理業者 汚泥 自社で脱水処理→運搬業者→処理業者

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

統括責任者（社長）



公害防止管理者（工場長）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	汚泥
排出量	2242.04 t	209.48 t

(これまでに実施した取組)

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	汚泥
排出量	2000 t	400 t

(今後実施する予定の取組)

購入者の余剰コンクリートである為、当社単独での減量には限界がある。
 今期も前年並みのコンクリートがらの量が予想される。
 購入先に戻りコンの減量を呼びかける。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

コンクリートがら、汚泥の分別を行い他の廃棄物が混入しないように管理している。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

実施予定なし

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	—	—
	自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	—	t
	(これまでに実施した取組)		
	—		
②計画	【目標】		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	—	—
	自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	—	t
	(今後実施する予定の取組)		
	—		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	—	—
	自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	—	t
	自ら中間処理により減量した 産 業 廃 棄 物 の 量	—	t
	(これまでに実施した取組)		
—			
②計画	【目標】		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	—	—
	自ら熱回収を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	—	t
	自ら中間処理により減量する 産 業 廃 棄 物 の 量	—	t
	(今後実施する予定の取組)		
—			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) —		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	汚泥
	全処理委託量	2242.04 t	209.48 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	2242.04 t	209.48 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚泥
	全処理委託量	2000 t	400 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	2000 t	400 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			